



良知あつゆき 視察報告

「総務委員会 県外視察」

現在、静岡県議会において、総務委員会副委員長として日々活動をさせて頂いております。今回、阪神・淡路大震災を被災した地域及び南海トラフ地震の予測で新たな被害想定の対応や大都市としての課題を抱える中、防災の知識と防災知識、そして「自助」「共助」の力の向上への取り組みなどについての視察を行つて参りました。地元地域の課題と照らし合わせ、今後の活動に役立てて参ります。



「津波・高潮ステーション」(大阪市)

2014年1月

津波・高潮ステーションは大阪府西大阪治水事務所内の施設で、津波・高潮が発生したときの西大阪地域の防災拠点および津波・高潮災害に関する啓発拠点となります。かつて大阪を襲った高潮や、東南海・南海地震とともに地震、津波発生時の対応などを学ぶことができるようになっています。津波・高潮に特化した防災・啓発施設の取り組みとして視察を行つてまいりました。大小多くの河川と海に囲まれている大阪は、人口や資産が海面より低い土地に集中してるとともに、海岸線は約230kmもあり、高潮や津波による浸水が大きな災害となりやすい傾向にあります。特に津波・高潮ステーションが設置されている西大阪地域には、標高0メートル以下の地域が約21平方キロメートルあります。このような大阪の特性から繰り返しだけで大きな高潮被害に遭った歴史や高潮防災対策のための施設などが様々な展示手法でわかりやすく紹介され、「見て、聞いて、触って」楽しく学ぶものを目指したものとなっていました。

【ホームページ】www.pref.osaka.jp/nishiosaka/tsunami/

「加古川グリーンシティ防災会」(兵庫市)

2014年1月

加古川グリーンシティ(マンション)では1995(平成7)年の阪神・淡路大震災後にクローズアップされたマンションの災害対策に取り組んでいます。近所付合いが薄いマンションで、どうすれば住民が防災活動に取り組むことができるかを考え、住民に対し多彩なアイディアを仕掛け、自主防災組織作りに成功しています。日頃から「自助」「共助」の中心となる活動において、何が大切で、どのように進めるべきかを学んでまいりました。→詳しくは「もっと良く知ろう」にて



「京都大学防災研究所・防災ミュージアム」(京都府)

2014年1月

京都大学防災研究所(防災ミュージアム)は創設以来、自然科学から人文・社会科学にわたる災害学理の追求と、防災学の構築に関する総合的研究・教育に取り組んでいます。地球規模あるいは地域特性の強い災害と防災に関わる多種多彩な課題に対して、基礎的研究を展開するとともに、現実社会における問題解決を目指した実践的な研究を実施し、安全・安心な社会の構築に資することを存立理念としています。従来のものを急激に上回る予測もあり、京都でも関心が高まっている南海トラフ地震に関し、地震予知研究センター橋本学教授から現在の調査研究内容について講義を受けて参りました。また、同大学はこの防災研究所連携研究棟2階に防災ミュージアムを整備し、学習施設として中高生及び自治体等の防災関連団体を学習対象とした活動を実施しています。これらの内容を静岡県及び焼津市の現状に照らし合わせ今後の防災対策への参考として参ります。

【ホームページ】www.dpri.kyoto-u.ac.jp

ふるさとにつこり通信

第6号 平成26年2月号

自民改革会議 | 静岡県議会議員

県政を身近にもっと良く知ろう

良知あつゆき 県政報告

目指すは「ふるさと暮らし満足度日本一」のまちづくり



もっと良く知ろう！

「自助」・「共助」って？

「加古川グリーンシティ防災会」の取り組みから

静岡県地震・津波対策アクションプログラム2013（確定案）においては、適切な避難行動や、地域防災力の向上の必要性が挙げられています。県としてアクションの推進に努めてまいりますが、「自助・「共助」の観点から、実施主体は「住民自体」となるものも盛り込まれています。住宅の耐震化、非常用備品の常備などの「自助」についてはイメージやすいところですが、「共助」として、自主防災組織や地域の中でのよう備えるのかは地域ごとの特性もありますが、活動に苦慮するところであると思います。非常用設備の点検や、定期的な防災訓練など以外の参考となる取り組みについてご紹介致します。

生活防災を推奨し、防災ソフト面及びハード面の両方を整備している。他の活動に惑わされること無く、自分たちに必要なオリジナルの防災活動を企画運営されています。

- たとえば「ソフト活動例」
 - 「ひどづくり、ひとつながり」をテーマとした運営
 - 「自分たちのまちは、自分たちで守る」をテーマとした運営
 - 「災害発生時の対策」をテーマとした運営
 - 「楽しく防災活動をやろう」をテーマとした運営
- 「ふれあい炊き出し訓練」としての「ふれあいもちつき大会」
- 救命救命法の訓練や市民救急救命時規格取得の啓発
- ちからこ部（自分の持っている特技の登録制度）
- オリジナルDIG（災害図上訓練）マニュアルの作成
- グリーンシティ防災マップ作成
- 「イカ焼き機でのオリジナル焼き出し訓練」

- 「たとえば「ソフト活動例」
 - 「ひどづくり、ひとつながり」をテーマとした運営
 - 「自分たちのまちは、自分たちで守る」をテーマとした運営
 - 「災害発生時の対策」をテーマとした運営
 - 「楽しく防災活動をやろう」をテーマとした運営
- 「ハード活動例」
 - 「マンション運営情報及び緊急情報伝達システム「グリーンネット」の導入
 - 「携帯電話向け「防災情報報ホームページ」運営
 - 各戸玄関に災害時役割シールの貼付
 - 防災井戸の設置



加古川グリーンシティ防災井戸

生活防災のすすめ

- 一、防災を他から独立させた活動にしない
- 二、平常時と災害時の両方で役立つハードとソフト整備
- 三、生活防災は、「自分を守ること」に間違いなくつながる

以上、一部抜粋

加古川グリーンシティ防災会ホームページ

<http://www.greencity.gr.jp/>

ふるさとにつこり通信

第6号 平成26年2月号

自民改革会議 静岡県議会議員

県政を身近にもっと良く知ろう

良知あつゆき県政報告

目指すは「ふるさと暮らし満足度日本一」のまちづくり

発行：良知あつゆき事務所

静岡県焼津市祢宜島602-2 TEL 054-631-6123

良知あつゆき公式ブログをご覧ください。
活動内容をご報告しています。

検索 良知あつゆき 思ったこと

<http://blog.rachiatsuyuki.jp/>

